

令和6年度 北海道池田高等学校 学校評価票

○平均が3.5以上と平均2.8以下は色けをつけています。また、前年比と比べて増減が大きいものも色をつけています。

【評価】 4：そう思う 3：おおむねそう思う 2：あまり思わない 1：思わない

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学校教育活動全般	1	本校の教育活動は、生徒の実態や保護者・地域の願いに応えたものになっている。 前年対比	3.3	3.1	3.2	・前年対比「-」は、前年のアンケート項目から変更したため比較できない項目である。 【成果】 今年度は、学校ホームページの更新を毎日行うことができた。新聞社への積極的な情報提供ができた。 【課題】 保護者と連絡を密にとるための仕組みづくり。	・体調不良等の欠席の場合には、放課後に生徒の状況確認や学校の様子を伝えられるように体制を強化する。 ・生徒の様子に変化が見られたときには、家庭への情報提供と家庭との情報共有を密に行えるよう体制を強化する。	3.0
	2	学校からの配布物や学校ホームページ、新聞報道などから本校の取り組みや教育活動の様子が保護者や地域に伝わっている。 前年対比	3.2	3.1	3.3			3.5
	3	本校は、保護者に生徒の学習や生活の様子をわかりやすく説明し、心身の健康などについても連携を図っている。 前年対比	3.2	3.0	3.1			3.0
	4	本校の職員は、保護者・地域からの相談や連絡などに対し誠意をもって対応している。 前年対比	3.3	3.1	3.4			3.0
				-	-0.2			-
学校関係者からの意見		・学校HPは一般的に見る機会が少ないので、 <u>YouTube等のSNS発信を増やした方が保護者や地域に伝わるのではない</u> か。 ・令和6年度より、ホームページを活用した情報発信に努められており、次年度以降も引き続き、池田高校の取組の発信が期待されます。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学習に関する活動	5	本校は、生徒に基礎的・基本的な知識や技能が身に付くような授業(学習活動)を行っている。 前年対比	3.5	3.2	3.3	【成果】 学習活動や学習指導について、生徒や保護者に理解してもらえるような説明や取組ができた。 【課題】 自ら学ぶ態度の育成。	・各教科での課題の提示方法や取組の様子を共有する時間(研修・教務部が中心)を設ける。	3.5
	6	本校は、選択科目の説明会や面談を通して、生徒一人ひとりに目標を持たせる学習指導を行っている。 前年対比	3.4	3.2	3.1			3.5
	7	本校は、課題(宿題)の指示や提出・確認など、生徒が家庭学習に取り組む指導を行っている。 前年対比	3.1	3.0	2.8			3.0
				-	0.0			-
学校関係者からの意見		・総合学科であることによるカリキュラムを活かした教育活動を展開し、地域の中学生的進学希望者が増加する様に今後も努めて頂くことが期待されます。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
基本的生活に関する活動	8	本校の生徒は、服装・頭髪などの身だしなみが整い、挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣を身に付けている。 前年対比	3.2	3.1	2.9	【成果】 ・本校の生徒指導に関して、生徒、保護者ともに概ね理解をいただくことができた。 ・スクールカウンセラー等の活用により、生徒情報の共有を図ることができた。 【課題】 教育相談全般の充実。	・生徒が自律できるよう、生徒との対話を充実させた生徒指導を今後も継続する。 ・まずは校内において、自分からあいさつのできる人を育てる。 ・項目4と項目9について、教員評価に差がみられる。項目4の評価に近づけられるように生徒への教育相談スキルの向上を図る。	3.0
	9	本校は、生徒が抱える悩みなどの相談に誠実に対応している。 前年対比	3.2	3.0	3.1			3.0
	10	本校は、自他の生命を大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。 前年対比	3.1	2.9	3.1			3.0
				-	0.1			-
学校関係者からの意見		・ <u>小、中ともにあいさつを重点の一つとしているので、高校も含めて池田町の子どもたちが自分からあいさつができるようになる</u> といいですね。 ・保護者との連携 NO10とNO17						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
進路実現に向けた活動	11	本校は、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けて、適性や希望に応じた進路指導を行っている。	3.6	3.2	3.4	【成果】 総合学科の特色を活かした進路活動が展開できた。今年度は、総合型選抜入試で合格を決めることができた。 【課題】 保護者に対して、進路活動に関する情報共有の仕方。	最新の進路動向を知るために、外部機関を活用した校内研修を実施する。また、校内での取り組みを教職員で共有するための時間も確保する。 ・進路通信(生徒向けに配布しているもの)を楽メ(メール配信)を使用して、保護者の方に周知する。	3.7
		前年対比	-	-0.1	-			
	12	本校は、総合学科の特色を活かし生徒の社会的・職業的自立のために必要な力が身につくような活動(キャリア教育活動)を行っている。	3.5	3.1	3.1			3.5
		前年対比	-	-0.1	-			
	13	本校は、保護者に進路に関する情報を提供し、家庭と連携を図りながら生徒一人ひとりの進路実現を図っている。	3.4	3.1	3.1			3.2
		前年対比	-	-0.1	-			
学校関係者からの意見		<p>・YouTubeでの探究学習などの授業紹介は、具体的で学校の取組がわかりやすく紹介されており伝わりやすかった。大</p> <p><u>学合格インタビューは、在校生、受検生の参考になるので今後も継続してほしい。</u></p> <p>・進路の実績からも、生徒一人一人に対応した取組の成果が現れている。</p>						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
その他の活動	14	本校は、地域と連携した教育活動に積極的に取り組んでいますか。	3.6	3.2	3.5	【成果】 総合学科の特色を活かした教育活動が展開できた。各校種(幼保小中)や町と授業等で連携できた。 【課題】 先生方の教育実践(授業や課外活動)の共有	・NO15について、部活動は下火になっているが、校外活動(課外活動)は活発に行われていることを教職員間で共有する。そのために、打合せや会議時に、各先生方の取組を報告する仕組みを整える。先生方に対して管理職からの積極的な声掛けを行う。	4.0
		前年対比	-	0	-			
	15	本校の生徒は、学校行事、校外活動、部活動などを活発に行っていますか。	3.4	3.2	2.8			3.2
		前年対比	-	-0.1	-			
	16	本校の先生方は、熱心に各種の教育活動に取り組んでいますか。	3.3	3.1	3.4			3.5
		前年対比	-	-0.1	-			
学校関係者からの意見		<p>・地域のボウリングやダーツサークルに潜入調査し、地域の魅力を発信するのは、新しい試みで、地域との交流を深めたり、高齢者のモチベーションupにもつながっている。Instagramを見て、小物作成、アクセサリー販売に参加。多世代交流の場になっており、今後も継続してほしい。</p> <p>・総合学科の特色を活かした池田町での生徒の取組がより一層、広がることが期待される。</p> <p>・地域と連携した教育活動については、大変積極的に取り組まれており、また、その様子を高校ホームページや広報誌等で保護者や地域住民へ随時お知らせされており、それらが高校の魅力向上につながっているものと思います。そのため、4評価に値するものと考えました。</p>						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	分析	次年度に向けて	学校関係者評価	
その他の活動項目	17	今後、本校の教育活動を良いものとするために、力を入れた方が良いと思われるものに○をつけてください。(いくつつけてもけっこうです)							力を入れた方が良いと思われるものに○をつけてください。(いくつつけてもけっこうです)
		基礎学力	36%	53%	71%	①○をつける個数を指定すべきであった。生徒のパーセンテージが低くなってしまった。 ②基礎学力の項目は三者ともに高い。進路実現や探究活動をする上で、基礎学力の必要性を感じているのではない。 ③資格取得に関して、保護者の割合は高い一方、教員の割合は低い。 ④いじめ対策について、保護者の割合が前年度から比較し大きく下がっている。今年度はいじめ対策委員会を中心に対応できた結果と考える。	①について、「○を3個以上つけてください」としてアンケートを集計したい。 ②について、基礎学力の向上のために外部教材を利用する。教員に対してその使用方法等の研修を行う。 ③について、生徒・保護者が資格取得について力を入れてほしいという願いがあることを、教職員で共有する。資格取得希望生徒に対して、今までと同様にサポートを行う。 ④組織的対応を次年度も行いたい。 ※部活動についての項目を次年度は「校外活動」と変更する。	100%	
		前年対比	-	-2%	-				
		心の教育	28%	47%	86%			67%	
		前年対比	-	-9%	-				
		いじめ対策	36%	26%	36%			50%	
		前年対比	-	-23%	-				
		部活動	28%	21%	14%			50%	
		前年対比	-	-2%	-				
		進学指導	33%	34%	36%			50%	
		前年対比	-	0%	-				
		就職指導	32%	29%	29%			33%	
		前年対比	-	-1%	-				
		中高連携	18%	18%	21%			83%	
前年対比	-	1%	-						
資格取得	33%	63%	29%	33%					
前年対比	-	18%	-						
学校関係者からの意見		<p>・池中で部員の多い、<u>卓球、バド、吹奏楽</u>が高校に行っても続けたいと思える環境になっているとよりよいのではないだろうか。</p> <p>・最近では生徒数の減少もあり、部活動の活躍が聞かれない状況にあるため、頑張りが期待される。</p>							